

健康アライアンス勉強会

～岩手県一関市 国保藤沢病院の軌跡と奇跡～



「町民一人一人が手積みした“希望のケルン”
当時の藤沢町(現一関市藤沢地区)は、医療過疎地だけでなく、人口減・産業衰退の問題を抱え、まさに限界地区。町を創り直す象徴となったのが国保藤沢病院。地域に根を張り、その治療は高度かつ的確。優しい眼差しのドクターやコメディカルのみなさんが素晴らしい医療と介護を実現している。

そんなお話しを国保藤沢病院の佐藤元美先生お招きします。佐藤先生は、誰もが知る地域医療の第一人者であり、岩手県の医療過疎地とも呼ばれた旧藤沢町で「健康増進外来」を始め、先進的な医療に取り組んでおられます。

第二部の講師は、(株)クレメンティアの荒尾裕子さん。行政保健師・心理士・外資系コンサルタント・健康政策コンサルタントと幅広く、深い経験を積みかさね 8 月には初の著書「戦うための心体づくり」を出版。現在は中央官庁や自治体のコンサル、研究機関や関連団体の事業取り組んでいます。

=====

9 / 10 (木) 健康アライアンス勉強会

第1部 ■ 演題：住民と語り合う医療

■ 講師：佐藤元美医師 一関市国保藤沢病院 病院事業管理者

■ 略歴：岩手県生まれ、自治医科大学医学部卒業後、岩手県立宮古病院、岩手県立久慈病院で内科医として勤務。1992年に岩手県藤沢町に移り、1993年に国民健康保険藤沢町民病院を創設して病院長となる。2005年からは藤沢町民病院事業管理者となり、医療と介護の一体的運営を行っている。岩手県地域医療研究会会長、岩手県医療審議会委員、自治医科大学学外講師、岩手医科大学臨床教授

第2部 ■ 演題：健康政策コンサルティングから生まれた「戦うための心体づくり」

■ 講師：荒尾裕子さん 株式会社クレメンティア 代表取締役社長

■ 略歴：保健師、看護師、認定心理士。公務員、外資系コンサルファーム：アクセントでのコンサルタント職を経て、国が行うヘルスケア関連政策のプロジェクトに数多く参画する一方、10年以上にわたる個別健康管理支援、脱落率ゼロの保健指導、上場企業のエグゼクティブクラス対象のパーソナル健康マネジメントも実施

お申込みは裏面に

